

大会名 Competition	第73回 秋田県男女総合バスケットボール選手権大会 兼全日本総合バスケットボール選手権大会秋田県代表決定戦
女子決勝	Year Month Day Time 2018 年 4 月 22 日 12 : 30
場所 Place	CNAアリーナ★あきた



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB
秋田銀行	(20 1st 14 20 2nd 13 27 3rd 15 13 4th 16 OT)	プレステージ
80 ○		58 ●

主審:Referee 小野寺 浩 秋田
副審:Umpire 疋田 晋 秋田
相澤 慎之介 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
県協会 TO委員会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	成田 麻沙美		6	1	1	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	0
5	/	矢上 若菜		5	1	0	2	0	1	×	久岡 真歩子		22	1	8	3	2
6	/	国井 直子		4	0	2	0	0	2	/	駒澤 杏		0	0	0	0	0
7	/	小林 彩花		2	0	1	0	1	3	/	古屋 有紀		3	1	0	0	2
8	/	阿部 優美香		2	0	1	0	0	4		小澤 彩佳		-	-	-	-	0
9	/	渡邊 好美		0	0	0	0	1	6		藤森 恵		-	-	-	-	0
10		柏 詩乃		-	-	-	-	0	8		堀田 優奈		-	-	-	-	0
11	×	加藤 千夏		19	1	8	0	3	11		河瀬 ひとみ		-	-	-	-	0
12		加藤 三津子		-	-	-	-	0	13	×	中島 萌奈美		7	0	3	1	2
13	×	伊藤 美和子 ^{CAP}		13	0	6	1	1	14	/	岩崎 みさこ		0	0	0	0	0
14	×	星 希望		9	0	3	3	1	17		長島 汀		-	-	-	-	0
15	/	浅利 愛		8	0	3	2	2	19		土岐 侑加		-	-	-	-	0
16	/	柴田 知恵		5	1	1	0	2	20		福田 佐耶香		-	-	-	-	0
17	×	高橋 芙由子		7	1	1	2	2	23	×	柿沼 かすみ ^{CAP}		13	2	3	1	3
				-	-	-	-	0	24		辻本 みどり		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0	27	×	成田 あゆみ		6	2	0	0	2
				-	-	-	-	0	32	/	大里 悠碧		5	0	2	1	0
				-	-	-	-	0	51	×	澤田 七海		2	0	1	0	4
コーチ		小滝 道仁							コーチ		相楽 幸城						
Aコーチ		野村 直子															
合計				80	5	27	11	14	合計				58	6	17	6	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド:両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。先制点は、秋田銀行#17高橋のドライブからのシュートでゲームが動く。プレステージも#1久岡のドライブからのシュート、#23柿沼のバスケットカウントを入れ返し両チームとも一進一退の攻防が続くゲーム展開になる。プレステージは、#1久岡の3PTSでゲームの流れを握るかに思えたが、秋田銀行もすぐさま、#11加藤の3PTS、#13伊藤のゴール下シュートを入れ返し、流れを渡さない。20対14、秋田銀行のリードで終了。

第2ピリオド:開始早々秋田銀行は、#4成田のドライブ、#11加藤のゴール下、#14星のバスケットカウントでゲームの流れを一気に引き寄せる。秋田銀行が15点差をつけたところでプレステージはタイムアウトをとり、リズムを変えようとするも、秋田銀行の厳しいディフェンスにより点差を詰めることができない。プレステージは、#23柿沼の3PTSなどで点差を詰めようとするも、秋田銀行はリバウンド争いで優位に立ち、徐々に点差を広げ始める。40対27、秋田銀行のリードで前半終了。

第3ピリオド:後半開始早々プレステージは、#1久岡の連続ポイント、#27成田の3PTSで点差を詰め始めるが、秋田銀行は#11加藤のリバウンドからのシュート、#4成田のスティールからの得点などでゲームの流れを渡さず緊迫した展開が続く。秋田銀行が21点のリードとなったところで、プレステージはタイムアウトを請求し、体勢を立て直しを図るもシュートを決めることができず得点を伸ばすことができない。対する秋田銀行は、リバウンドやルーズボール争いで優位に立ち、一気に突き放しにかかり67対42、秋田銀行のリードで終了。

第4ピリオド:追いつきたいプレステージは、#27成田の3PTS、#1久岡のドライブを軸に攻撃を組み立て追い上げを図るも、秋田銀行はメンバーを入れ替えても攻守ともに安定したゲーム運びを見せた秋田銀行が80対58で勝利。14大会連続15回目の優勝を飾った。